

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

什器備品 定額法によっております。

(2) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期貯金	9,000,000	—	—	9,000,000
定期預金	14,000,000	—	—	14,000,000
小計	23,000,000	—	—	23,000,000
特定資産				
C I B 会議積立資産	1,500,000	—	—	1,500,000
国際会議積立資産	250,000	130,000	—	380,000
小計	1,750,000	130,000	—	1,880,000
合計	24,750,000	130,000	—	24,880,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	当期末残高	〔うち指定正味財産 からの充当額〕	〔うち一般正味財産 からの充当額〕	〔うち負債に対応 する額〕
基本財産				
定期貯金	9,000,000	(9,000,000)	—	—
定期貯金	14,000,000	(14,000,000)	—	—
小計	23,000,000	(23,000,000)	—	—
特定資産				
C I B 会議積立資産	1,500,000	(1,500,000)	—	—
国際会議積立資産	380,000	(380,000)	—	—
小計	1,880,000	(1,880,000)	—	—
合計	24,880,000	(24,880,000)	—	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,342,445	3,320,821	21,624

5. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

6. 助成金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

助成金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

助成金の名称	交付者	前期末残高	当期増加高	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
学校訪問プログラム	一般財団法人 MRAハウス	0	2,400,000	2,400,000	0	
国際会議	一般財団法人 MRAハウス	0	300,000	300,000	0	
国際会議	一般社団法人 東京倶楽部	0	1,000,000	1,000,000	0	
インターンシッププログラム	一般財団法人 MRAハウス	0	350,000	350,000	0	
合計		0	4,050,000	4,050,000	0	

7. 関連当事者との取引の内容

特にありません。

8. 重要な後発事象

特にありません。

9. その他

特にありません。